

令和8年第7回加賀市教育委員会定例会の議件を次のとおり提出する。

令和8年7月21日

加賀市教育委員会

教育長 松 本 向 貴

1 報告事項

報告第27号 小中学校等特別自衛消防訓練について

報告第28号 市内小中学校・義務教育学校におけるクマ対策について

報告第29号 学校施設の在り方に関するアンケート調査の実施について

報告第30号 令和8年度運動会・体育祭の開催日について

報告第31号 加賀市における令和8年度グッドマナーキャンペーンの実施について

報告第32号 加賀市歴史民俗資料保存活用検討委員会委員の委嘱について

2 その他

事務連絡
令和8年7月3日

教育委員会 御中

加賀市消防本部予防課
課長 宮岡 正明

市内小中学校における「特別自衛消防訓練」実施要領（案）

1 目的

東京都北区立小学校で発生した火災事案に鑑み、出火防止の徹底、火災発生時の避難安全の確保並びに初期消火の適切な実施等について、加賀市消防本部予防課の指導のもと、市内小中学校並びに義務教育学校全22校を対象として特別自衛消防訓練を実施し、学校全体の防火安全管理体制の強化を図る。

2 実施期間

令和8年7月中旬 ～ 8月下旬

3 対象施設

市内小中学校 全22校（小学校16校、中学校5校、義務教育学校1校）

4 訓練重点項目・内容

本訓練では、通知に基づく以下の項目を重点的に実施・検証します。

- (1) 出火防止の徹底検証：未使用ストーブや長期間移動されていない暖房器具の保管場所、電源プラグ周辺（トラッキング対策）、周囲の可燃物管理状況の現場点検と指導。
- (2) 自動火災報知設備作動時の初動対応：発報時における火点の確認手順、校内放送設備を用いた児童生徒・教職員への的確な情報共有と避難準備呼びかけのシミュレーション。
- (3) 複数ルートを想定した避難誘導：様々な出火場所を想定した避難経路の選択、防火戸・防火シャッター作動時の閉鎖空間における安全な通行方法の確認。
- (4) 避難器具（救助袋等）の円滑な運用：校舎に設置されている救助袋等の展開・取扱方法の習熟と、有事の際の展開に必要な人員・体制の確保検証。
- (5) 初期消火と退避時の延焼防止：消火器・屋内消火栓の取扱方法の再確認、及び退避の際に出火室の扉を閉鎖して煙と炎を閉じ込める行動の徹底指導。

【参考】避難器具設置校

救助袋（6校）：錦城小、作見小、山代小、庄小、橋立海青（前期後期）、東和中
緩降機（2校）：錦城中、片山津中

市内小中学校・義務教育学校におけるクマ対策について

全国で市街地におけるクマの出没が頻発しており、本市においても錦城東小学校運動場で目撃情報があるなど、安全対策が重要となっています。

については、児童生徒・教職員の安全確保のため、クマ撃退スプレーを市内小中学校・義務教育学校に常備するとともに、集団下校時の引率教師が携行できる体勢を整備します。

【緊急対応】

6月24日（水）午前5時40分ごろ 錦城東小学校運動場で目撃情報があり

午前6時15分ごろ 南郷町地内で目撃情報があり

⇒錦城東小学校では、全校児童保護者送迎

南郷小学校では、全校集団下校

※市教委で緊急にクマ撃退スプレー18本をホームセンターで購入し、うち8本を南郷小学校に配置中

【常備対応】

2学期開始までに約70本のクマ撃退スプレーを追加購入を計画（既存購入分と合わせ88本）し対応体制を構築

○22学校施設に各2本を常備（学校施設敷地内に侵入してきたクマ対策用）

＝44本（2本×22校）

○集団下校を実施する学校施設貸出用に事務局に配置

＝44本（4～5校対応可）

学校施設の在り方に関するアンケート調査の実施について

【目 的】

学校施設の在り方に関し、課題の構造化並びに市民（児童生徒を含む）及び学校関係者の意識の確認に資することを目的としてアンケート調査を実施する。

【対象者】

- ① 市内の学校に通う小学校および義務教育学校の4年生から6年生までの児童
- ② 中学校1年生から3年生及び義務教育学校7年生から9年生までの生徒
- ③ 未就学児から中学校3年生（義務教育学校9年生）までの保護者
- ④ 市内小中学校・義務教育学校の教職員
- ⑤ 学校運営協議会委員・地域学校協働活動推進員
- ⑥ 上記以外の市民

【アンケート期間】

令和8年7月6日（月）から令和8年7月26日（日）まで

【アンケートの方法】

Web アンケート

【アンケート内容】

別紙のとおり

【周知方法】

- 学習支援システムや保護者連絡ツール、校務支援システムを用いての周知
- QRコードが記載されたチラシの配布
- 市・教育委員会ホームページ、公式SNS（LINE、Facebook）での発信
- アビオシティセントラルコートのデジタルサイネージの掲載
- ケーブルテレビの文字放送や報道機関へのプレスリリース など

《保護者、市民、教職員向けアンケート》（案）

本市では、学校施設の老朽化、予測より早い少子化、時代の変化を踏まえた新たな学びの必要性（※）などを踏まえて、より安全・安心で豊かな学びの場の在り方について検討を進めています。検討に当たって、学校内外の皆様のご意見を広くお伺いしたく、アンケート調査を実施することといたしました。ご協力のほど何卒よろしくお願い致します。

※本市の子どもの数の推移や、新たな学びの在り方、学校を取り巻く課題等については、こちら（リンクを貼る）をご覧ください。

	1. あなた自身のことについてお聞きます。
保護者、市民	Q1-1 あなたの年齢について教えてください。（1つ選択） A1-1 ①20歳未満、②20歳代、③30歳代、④40歳代、⑤50歳代、⑥60歳代、⑦70歳以上
	Q1-2 あなたの同居する家族について教えてください。（いくつでも） A1-2 ①未就学児がいる、②小学生がいる、③中学生がいる、④高校生がいる、⑤当てはまるものは無い
	Q1-3 あなたのお住いの地域の小学校を教えてください。（1つ選択） A1-3 ①錦城小、②錦城東小、③三谷小、④南郷小、⑤片山津小、⑥金明小、⑦湖北小、⑧動橋小、⑨分校小、⑩作見小、⑪山代小、⑫庄小、⑬東谷口小、⑭勅使小、⑮山中小、⑯河南小、⑰橋立海青学園、⑱市外、⑲分からない
	Q1 あなたのお勤めの学校を教えてください。（1つ選択） A1 ①錦城小、②錦城東小、③三谷小、④南郷小、⑤片山津小、⑥金明小、⑦湖北小、⑧動橋小、⑨分校小、⑩作見小、⑪山代小、⑫庄小、⑬東谷口小、⑭勅使小、⑮山中小、⑯河南小、⑰橋立海青学園（前期）、⑱錦城中、⑲片山津中、⑳東和中、㉑山代中、㉒山中中、㉓橋立海青学園（後期）
コミスク委員・C	Q1 あなたが携わっている学校を教えてください。（1つ選択） A1 ①錦城小、②錦城東小、③三谷小、④南郷小、⑤片山津小、⑥金明小、⑦湖北小、⑧動橋小、⑨分校小、⑩作見小、⑪山代小、⑫庄小、⑬東谷口小、⑭勅使小、⑮山中小、⑯河南小、⑰橋立海青学園（前期）、⑱錦城中、⑲片山津中、⑳東和中、㉑山代中、㉒山中中、㉓橋立海青学園（後期）
共通	2. 小中学校の学校施設の安全・安心や在り方についてお聞きます。
	Q2 学校施設にどのような設備があればより安心だと感じますか。（最大3つ選択） A2 ①敷地外からのよじ登りや乗り越えを防ぐ防犯フェンス・忍び返し ②校門などにおける学校への出入りが確認できる防犯カメラ ③送迎の際、安全に乗り降りができる場所 ④逃走する不審者の目印用のカラーボール ⑤熊よけスプレーなどの鳥獣害対策グッズの常備 ⑥一人ひとりの防災ヘルメット・防災頭巾 ⑦ その他（ご自由に記載ください）

共通	Q3 学校施設の在り方（数や配置など）において、安全確保の他に、どのような点が特に重要だと思われますか。（最大3つ選択） A3 ① 1学級の児童生徒数や同学年の学級数がある程度多く、多様な活動などにつながる事 ② 1学級の児童生徒数や同学年の学級数がある程度少なく、きめ細かな教育などにつながる事 ③ クラス替えがある事 ④ 小学校・中学校の間での環境の変化が小さい事 ⑤ 通学時間 ⑥ 教職員が連携した組織的な体制が確保しやすい事 ⑦ 子どもや保護者の声が学校に届きやすい事 ⑧ 学校と地域との結びつきを強めやすい事 ⑨ 施設の修繕や環境整備などにより、より快適な学習環境で学びやすい事 ⑩ 給食がより安定的に実施できる施設である事 ⑪ その他（避難所としての観点、維持管理や改修費の観点など、ご自由に記載ください）
	3. 小中学校の学級数及び児童生徒数についてお聞きします。 Q4 学校には、1学年あたりおおむね何学級で、1学級には何人いるのが理想的だと思いますか。（各1つ選択） A4-1 1学年：①1学級、②2学級、③3学級以上、④複式学級（複数学年を1学級にまとめること）、⑤一概に言えない A4-2 1学級：①10人以下、②11～20人、③21人～30人、④31人以上、⑤一概に言えない Q5 （A6-1で①～④の人またはA6-2で①～④の人のみ） 前問のように答えた理由として、あなたの考えに近いものを選んでください。（最大3つ選択） A5 ① 多くの友達ができ、多様な交流がありそう（人間関係が固定化されにくそう） ② 一人ひとりに応じた、きめ細かな支援が受けられそう ③ 学級どうしで切磋琢磨したり、学級間で交流ができそう ④ 学年を越えた一体的な活動などが実施しやすそう ⑤ 運動会や遠足などの行事や活動が大勢で盛り上がりそう ⑥ 運動会や遠足などの行事や活動で一人ひとりの意見が取り入れやすそう ⑦ 授業や休み時間などに多様な活動ができそう ⑧ 授業や休み時間などに運動場や体育館などを柔軟に活用できそう ⑨ 担任以外の教職員も一体となった組織的な学校の対応につながりやすそう ⑩ その他（ご自由に記載ください）

共通	4. 通学方法と通学時間についてお聞きします。
	Q6 小学生の通学方法として、どのような方法が良いと思いますか。（いくつでも）
	A6 ①徒歩、②スクールバス、③保護者送迎、④公共交通機関、⑤自転車、⑥その他
	Q7 小学生の片道の通学時間は、どのくらいが許容範囲だと思いますか。（1つ選択）
	A7 ①15分まで、②30分まで、③45分まで、④60分まで、⑤時間は問わない
	Q8 中学生の通学方法として、どのような方法が良いと思いますか。（いくつでも）
共通	A8 ①徒歩、②スクールバス、③保護者送迎、④公共交通機関、⑤自転車、⑥その他
	Q9 中学生の片道の通学時間は、どのくらいが許容範囲だと思いますか。（1つ選択）
	A9 ①15分まで、②30分まで、③45分まで、④60分まで、⑤時間は問わない
	5. 学びについてお聞きします。
	Q10 より豊かな学びの実現等のため、学習内容面のほかに重要なことは何だと思われますか。（いくつでも）
	A10 【クラスに関すること】
	① クラス替えができること。
	② 一人ひとりに応じた、きめ細かな支援が受けられること
	③ 運動会や合唱などの集団活動・集団学習に制約が生じないこと。
	④ 学年を越えた一体的な活動ができること
	⑤ 多様な価値観に触れさせられること。
	⑥ 行事や活動で一人ひとりの意見が取り入れられること
	【教職員に関すること】
	※一般論として、児童生徒数の減少に応じて、法律に基づく学校の教職員定数は減少します。
	⑦ 複数学年や複数教科、免許外教科の担当など、負担の大きい事務がないこと。
	⑧ 教材研究や生徒指導について相談する時間や相手がいること。
	⑨ 例えば産育休時などの代替職員の確保が容易であること。
	⑩ 習熟度別指導、専科指導などの多様な指導方法を取れること。
	⑪ 研修や他校等での研究協議会等に参加するための人繰りができること。
	⑫ 教育支援員など、市独自の職員が配置・確保できること。
	【施設等に関すること】
	⑬ 施設・設備が十分に新しいこと。
	⑭ 創造性など刺激される空間であること。
	⑮ 不審者等への対策ができていないこと。
	⑯ 通学路の安全が確保されていること。
	【その他】
	⑰ その他（ご自由に記載ください）

《小4～6年生・中学生向けアンケート》（案）

加賀市にはさまざまな大きさの学校があり、それぞれ個性豊かな学びが行われています。

ですが、皆さんが高校生になるころなどには、小中学生の数が今より大きく減るという予測もあります。また、毎年、建物は古くなっていきます。

こうした状況の中での、より安全・安心で豊かな学びの場の在り方について、いま市内みんなで考えています。より良い学校にするため、あなたの意見を聞かせてください。

※よくわからない質問などがあれば、回答しなくてもかまいません。

※保護者の方へ：なるべくお子様一人でご回答いただきたいですが、サポートが必要な場合は、ご協力をお願いいたします。

1. あなた自身のことについてお聞きします。	
小学生 中学生	Q1 あなたの通っている学校を教えてください。（1つ選択） A1 ①錦城小、②錦城東小、③三谷小、④南郷小、⑤片山津小、⑥金明小、⑦湖北小 ⑧動橋小、⑨分校小、⑩作見小、⑪山代小、⑫庄小、⑬東谷口小、⑭勅使小、 ⑮山中小、⑯河南小、⑰橋立海青学園 A1 ①錦城中、②片山津中、③東和中、④山代中、⑤山中中、⑥橋立海青学園
2. 小中学校の学校施設の安全・安心や在り方についてお聞きします。	
共通	Q2 学校施設に何があれば、より安心だと感じますか。（最大3つ選択） A2 ① 外から人やクマが入らないようにするフェンス ② 校門などで、学校への出入りを確認する防犯カメラ ③ 送り迎えのときに安全に乗り降りができる場所 ④ カラーボール（知らない人が学校に入ってきて、逃げる時、あとで警察などに捕まえてもらえるよう、目印をつけるためのボール） ⑤ クマよけスプレー ⑥ 防災ヘルメット・防災頭巾その他（ご自由に記載ください）
共通	Q3 市内の学校施設の数や場所を決めるとき、安全のほかに、どのような点が特に重要だと思いますか。（最大3つ選択） A3 ① 1クラスのクラスメイトの数や1学年のクラス数がある程度多く、いろいろな活動などにつながる事 ② 1クラスのクラスメイトの数や1学年のクラス数がある程度少なく、きめ細かな教育などにつながる事 ③ クラス替えがあること ④ 小学校から中学校へ進学するときに、環境の変化が小さいこと ⑤ 通学時間 ⑥ 先生が連携して仕事がしやすいこと ⑦ 子どもや保護者の声が学校に届きやすいこと

	⑧ 学校と地域との結びつきを強めやすいこと ⑨ 施設の修繕や環境整備などにより、より快適な学習環境で学びやすいこと ⑩ 給食がより安定的に実施できる施設であること ⑪ その他（ご自由にお書きください）
共通	3. クラスの数とクラスメイトの人数についてお聞きします。 Q4 学校のクラスの数とクラスメイトの人数はどのくらいが良いと思いますか。（1つ選択） A4 ①今より多い方がいい、②今より少ない方がいい、③ちょうどいい、④分からない Q5 （A4で①～③の人のみ） 前問のように答えた理由として、あなたの考えに近いものを選んでください。（最大3つ選択） A5 ①多くの友達ができ、いろいろな交流がありそう ②一人ひとりにあわせて、ていねいに教えてもらえそう ③クラスどうして楽しく競争や交流ができそう ④複数の学年が一緒になった活動などがやりやすそう ⑤運動会や遠足などの行事や活動が大勢で盛り上がりそう ⑥運動会や遠足などの行事や活動で一人ひとりの意見が取り入れやすそう ⑦授業や休み時間などに、いろいろな活動ができそう ⑧授業や休み時間などに、運動場や体育館などを自由に使いそう ⑨学校の先生がみんな一緒になって対応してくれそう ⑩ その他（ご自由にお書きください）
	4. 学校へ行く方法と時間についてお聞きします。 Q6 いつも、どのような方法で学校へ通っていますか。（1つ選択） A6 ①徒歩、②スクールバス、③保護者送迎、④公共交通機関、⑤自転車、⑥その他 Q7 いつも、家を出てから学校につくまでの時間は、どのくらいですか。（1つ選択） A7 ①15分まで、②30分まで、③45分まで、④60分まで、⑤分からない Q8 学校に行くときは、どのような方法で通うと良いと思いますか。（いくつでも） A8 ①徒歩、②スクールバス、③保護者送迎、④公共交通機関、⑤自転車、⑥その他 Q9 家を出てから学校につくまでの時間は、どのくらいが良いと思いますか。（1つ選択） A9 ①15分まで、②30分まで、③45分まで、④60分まで、⑤時間は気にしない

令和8年度 運動会・体育祭一覧表（案）

No.	学校名	月　・　日	曜	予備日	開会時刻	終了時刻	備考
1	錦城小	10月3日	土	10月4日	8:50	11:50	
2	錦城東小	10月10日	土	10月11日	8:30	11:10	
3	三谷小	10月17日	土	10月18日	8:45	11:00	
4	南郷小	10月17日	土	10月18日	8:30	12:00	
5	片山津小	10月17日	土	10月19日	8:30	11:40	
6	金明小	10月3日	土	10月4日	8:30	11:25	
7	湖北小	10月3日	土	10月4日	8:30	12:00	
8	動橋小	10月3日	土	10月4日	8:30	11:30	
9	分校小	10月3日	土	10月4日	8:30	11:30	
10	作見小	10月3日	土	10月4日	8:45	11:50	
11	山代小	10月10日	土	10月13日	8:45	11:45	
12	庄　小	9月26日	土	9月27日	8:30	11:30	
13	東谷口小	10月3日	土	10月4日	8:50	11:00	
14	勅使小	10月17日	土	10月18日	8:45	11:00	
15	山中小	10月10日	土	10月11日	8:40	11:40	
16	河南小	9月26日	土	9月29日	8:45	11:20	
17	橋立海青	6月5日	金	－	－	－	
18	錦城中	10月7日	水	10月8日	8:30	14:00	
19	片山津中	10月1日	木	10月2日	9:00	14:00	
20	東和中	10月2日	金	10月5日	8：45	13:30	
21	山代中	10月1日	木	10月2日	8:45	12:15	
22	山中中	10月1日	木	10月2日	9:00	14:30	

加賀市における令和8年度グッドマナーキャンペーンの実施について

1. 趣 旨

心豊かにたくましく生きる子どもたちの育成のために、学校・家庭・地域社会が一体となって実施する「心の教育推進事業」の一環として、市内一斉に街頭で子どもたちにあいさつや公共マナーと交通ルールの遵守を呼びかけ、すべての大人が子どもたちのことに関心を持つことで、「心の教育」を市民運動とする気運を高める。

2. 事業主体 加賀市教育委員会

3. 事業内容

対 象 保育園・幼稚園児から高校生まで

期 間 令和8年9月1日（火）～9月30日（水）

<加賀市強調週間> 9月1日（火）～9月4日（金） 朝の登園登校時間

内 容

① 場 所

市内の各小中学校・義務教育学校や各学校PTA・育友会が定める場所
また、各実施団体が独自に定める場所

② 時 間

朝の登園登校時（実施団体ごとに、通勤等に支障がない範囲で実施）

③ 参加者

各青少年健全育成関係団体、各地区民生委員児童委員、教職員、保育士、幼稚園教諭、その他協力団体及び市内のすべての大人

④ 実施内容

各実施場所にて、朝のあいさつを呼びかけるとともに、交通ルール違反（特に自転車での危険行為）や携帯電話・スマートフォンのマナー、ゴミのポイ捨て等に関して適切な指導を行う。

> ふれあいあいさつdaysの実施

場 所	大聖寺駅前	動橋駅前
実施日	9月2日(水)・9月3日(木)	9月2日(水)
時 間	7:25～8:00	7:20～8:00

4. 実施の特徴

朝の登校時にのみ実施する。（下校時は、時間帯が定まらないため実施しない。）場所及び実施日時は、各学校及び実施団体の実情に合わせることにする。

5. 市民への周知

各種団体に参加協力を呼びかけるチラシを配布する。

6. その他

街頭指導にあたっては、児童生徒等の通行の妨げにならないよう配慮する。

加賀市歴史民俗資料保存活用検討委員会委員の委嘱について

加賀市歴史民俗資料保存活用検討委員会設置要綱第3条の規定により、下記のとおり加賀市歴史民俗資料保存活用検討委員を委嘱する。

記

- 1 委 員 4 名（別紙名簿のとおり）
- 2 任 期 令和8年7月1日から令和10年3月31日

○加賀市歴史民俗資料保存活用検討委員会設置要綱（抜粋）

（組織）

第3条 委員会は5人以内で組織し、次に掲げる者のうちから、加賀市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が委嘱し、又は任命する。

- （1） 歴史民俗資料に関する専門的な知識又は経験を有する者
- （2） 前号に掲げる者のほか、教育委員会が必要と認める者

（委員の任期）

第4条 委員の任期は、委嘱又は任命の日から2年以内とし、再任を妨げない。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

加賀市歴史民俗資料保存活用検討委員会 委員名簿(案)

○委員

氏名	所属・役職	敬称略 委員区分
はせがわ たかのり 長谷川 孝徳	石川県九谷焼美術館館長 元北陸大学教授	(1)
はまおか しんや 濱岡 伸也	石川県銭屋五兵衛記念館館長	(1)
いばやし ながゆき 伊林 永幸	加賀市文化財保護審議会委員	(2)
みつげ ひろし 見附 裕史	江沼地方史研究会会長 加賀市文化財保護審議会委員	(2)

※委員区分について

- (1) 歴史民俗資料に関する専門的な知識又は経験を有する者
- (2) 前号に掲げる者のほか、教育委員会が必要と認める者